

Rec'd PCT/PTO 30 DEC 2004
PCT/JP 03/08586

07.07.03

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

REC'D 25 JUL 2003
WIPO PCT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日
Date of Application:

2002年 7月10日

出願番号
Application Number:

特願2002-201682

[ST.10/C]:

[JP2002-201682]

出願人
Applicant(s):

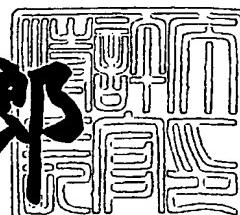
コニカ株式会社

PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2003年 4月22日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



Best Available Copy

出証番号 出証特2003-3029590

【書類名】 特許願
 【整理番号】 DKY00601
 【提出日】 平成14年 7月10日
 【あて先】 特許庁長官 殿
 【国際特許分類】 G06F 17/00
 【発明者】
 【住所又は居所】 東京都日野市さくら町1番地 コニカ株式会社内
 【氏名】 池田 博
 【発明者】
 【住所又は居所】 東京都日野市さくら町1番地 コニカ株式会社内
 【氏名】 笹瀬 尚子
 【発明者】
 【住所又は居所】 東京都日野市さくら町1番地 コニカ株式会社内
 【氏名】 上村 裕之
 【発明者】
 【住所又は居所】 東京都日野市さくら町1番地 コニカ株式会社内
 【氏名】 五十嵐 隆史
 【発明者】
 【住所又は居所】 東京都日野市さくら町1番地 コニカ株式会社内
 【氏名】 澤田 勝利
 【特許出願人】
 【識別番号】 000001270
 【氏名又は名称】 コニカ株式会社
 【代理人】
 【識別番号】 100090033
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 荒船 博司
 【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 027188

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 注文票発行装置

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンピュータが読み取可能な記録媒体に記録されたデータを読み取る読み取り手段と

前記読み取り手段により読み取られた前記データの識別情報を用いて、当該データのプリント注文を行うための注文票データを作成する作成手段と、

前記作成手段により作成された注文票データに基づいて注文票を印刷出力する出力手段と、

を備えることを特徴とする注文票発行装置。

【請求項2】

前記記録媒体に記録されたデータは画像データを含み、

前記読み取り手段は、前記記録媒体に記録された画像データを読み取り、

前記作成手段は、前記識別情報として、前記読み取り手段により読み取られた画像データのサムネイル画像を用いて前記注文票データを作成することを特徴とする請求項1記載の注文票発行装置。

【請求項3】

前記記録媒体に記録されたデータは文書データを含み、

前記読み取り手段は、前記記録媒体に記録された文書データを読み取り、

前記作成手段は、前記識別情報として、前記読み取り手段により読み取られた文書データのアイコン及び文書名を用いて前記注文票データを作成することを特徴とする請求項1記載の注文票発行装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、プリント注文のための注文票を発行する注文票発行装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

APS (Advanced Photo System) では、フィルムに撮影された画像の一覧をプリントするインデックスプリントを行うサービスを提供している。このインデックスプリントは、再プリント注文やフィルムの撮影画像の確認等に役立っている。最近では、写真画像のデジタル化に伴い、メモリカード等の記録媒体に記録された画像データのプリントを行うデジタルフォトサービスが展開されており、このようなデジタルフォトサービスにおいても、インデックスプリントが行われている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上述のインデックスプリントは、再プリント注文時や撮影画像の確認には利用されていたが、実用的な他の利用方法がなく、利便性に欠けていた。例えば、メモリカード等の記録媒体に記録された画像のプリント注文を行う場合、注文受付端末やインターネットのブラウザでのみ注文が可能であり、インデックスプリントを用いたプリント注文を行うことができなかった。

【0004】

本発明の課題は、インデックスプリントの実用的な利用方法の一つとして、記録媒体に記録されたデータの識別情報（サムネイル、アイコン、ファイル名、ファイルサイズ等）を一覧印刷したプリント注文票を発行することである。

【0005】

【課題を解決するための手段】

請求項1記載の発明は、

コンピュータが読み取可能な記録媒体に記録されたデータを読み取る読み取り手段と

前記読み取り手段により読み取られた前記データの識別情報を用いて、当該データのプリント注文を行うための注文票データを作成する作成手段と、

前記作成手段により作成された注文票データに基づいて注文票を印刷出力する出力手段と、

を備えること特徴としている。

【0006】

請求項1記載の発明によれば、記録媒体に記録されたデータの識別情報が印刷された注文票が発行可能になり、注文客は、発行された注文票に注文内容を記入する際、プリント注文を行うデータを容易に確認することができる。特に、記録媒体に複数のデータが記録されている場合、各データの識別情報の一覧が印刷された注文票が発行可能になり、注文票発行装置の利便性を一層高めることができる。

【0007】

請求項2記載の発明は、請求項1記載の発明において、
前記記録媒体に記録されたデータは画像データを含み、
前記読み取り手段は、前記記録媒体に記録された画像データを読み取り、
前記作成手段は、前記識別情報として、前記読み取り手段により読み取られた画像データのサムネイル画像を用いて前記注文票データを作成することを特徴としている。

【0008】

請求項2記載の発明によれば、記録媒体に記録された画像データのサムネイル画像が印刷された注文票を発行することで、注文客は、発行された注文票に注文内容を記入する際、プリント注文を行う画像を容易に確認することができる。

【0009】

請求項3記載の発明は、請求項1記載の発明において、
前記記録媒体に記録されたデータは文書データを含み、
前記読み取り手段は、前記記録媒体に記録された文書データを読み取り、
前記作成手段は、前記識別情報として、前記読み取り手段により読み取られた文書データのアイコン及び文書名を用いて前記注文票データを作成することを特徴としている。

【0010】

この請求項3記載の発明によれば、記録媒体に記録された文書データの文書名やアイコンが印刷された注文票を発行することで、注文票発行装置の利便性を一層高めることができる。

【0011】

【発明の実施の形態】

以下、図を参照して本発明の実施の形態を詳細に説明する。

まず、構成を説明する。

【0012】

図1は、本発明の注文票発行装置を適用した注文票発行機1の外観図である。注文票発行機1は、プリントサービスを提供する写真専門店や取次店、コンビニエンスストア、ドラッグストア等に設置され、図1に示すように、前面に、表示部11、キー入力部12、メディア入力部13、メディア出力部14、プリント出力部15を備えている。各部の構成説明は後述する。

【0013】

なお、図1に示した注文票発行機1では、表示部11、キー入力部12、メディア入力部13、メディア出力部14、プリント出力部15が、注文票発行機1の本体に一体的に構成されているが、これに限定されず、何れか1つ以上を別体として設けててもよい。

【0014】

次に、図2のブロック図を参照して、注文票発行機1の内部構成について説明する。注文票発行機1は、図2に示すように、制御部10、表示部11、キー入力部12、メディア入力部13、メディア出力部14、プリント出力部15、記憶部16、通信部17により構成され、各部は、バス18により接続されている

【0015】

制御部10は、CPU(Central Processing Unit)、RAM(Random Access Memory)、ROM(Read Only Memory)等により構成される。

【0016】

制御部10内のCPUは、ROMに格納された注文票発行機1用の各種プログラムの中から、指定されたプログラムをRAM内のワークエリアに展開し、当該プログラムに従った処理を実行する。具体的には、制御部10は、メディア入力部13にメディアが挿入されると、当該メディアに記録されたデータのプリント注文票を発行するための注文票発行処理を実行する(図4参照)。

【0017】

制御部10内のRAMは、CPUにより実行される処理プログラム等を、RAM内のプログラム格納領域に展開するとともに、入力データや上記処理プログラムが実行される際に生じる処理結果等をワークエリアに格納する。

【0018】

制御部10内のROMは、注文票発行機1で実行可能なシステムプログラム、当該システムプログラムで実行可能な注文票発行処理プログラム及び注文票発行処理プログラムで利用されるデータ等を格納している。これらのプログラムは、コンピュータが読み取り可能なプログラムコードの形でROMに格納されている。なお、システムプログラム以外の実行可能な注文票発行処理プログラム等やデータ等を、記憶部16が格納するようにしてもよい。

【0019】

なお、この制御部10は、特許請求の範囲における読み取り手段及び作成手段としての機能を有する。

【0020】

表示部11は、LCD (Liquid Crystal Display) やCRT (Cathode Ray Tube) 等により構成され、制御部10から入力される表示信号に従って、所要の表示処理を行う。表示部11における表示は、グラフィックを用いてもよいし、テキストのみを用いてもよい。また、グラフィックとテキストを併用して表示するようにしてもよい。更に、注文票発行機1が単一動作を行うものである場合、表示部11を備えないようにしてもよい。

【0021】

キー入力部12は、テンキー、カーソルキー、各種ファンクションキー等を有し、キーの押下信号による操作信号を制御部10に出力する。キー入力部12におけるキーは、1箇所に集中してレイアウトされていてもよいし、複数箇所に分散されてレイアウトされていてもよい。また、キー入力部12は、表示部11のLCDと一体になったタッチパネルを含んでいてもよい。

【0022】

メディア入力部13は、デジタルカメラ用のメディアであるメモリースティック

(登録商標)、スマートメディア(登録商標)、コンパクトフラッシュ(登録商標)、マルチメディアカード(登録商標)、SDメモリカード(登録商標)等のメモリカードを着脱可能に備えている。以下、メディア入力部13に装填されたメディアをメディアAと称す。

【0023】

メディア出力部14は、CD-R、DVD-R、MO(Magneto Optical Disk)、PCカード、メモリスティック(登録商標)、スマートメディア(登録商標)、コンパクトフラッシュ(登録商標)、マルチメディアカード(登録商標)等、データの書き込みが可能なメディアを着脱可能に備えており、制御部10からの制御信号に従って、メディア入力部13に装填されたメディアAに記録されたデータの書き込みを行う。メディア出力部14に装填されるメディアは、メディアAの記録内容を書き込んで、客に持ち帰ってもらうためのメディアである。

【0024】

また、メディア出力部14は、必要に応じて、メディアAの記録内容を回覧するためのソフトウェア、注文票を客のパソコンで出力するためのソフトウェア、注文票のイメージファイル、インターネットを介してプリント注文を行うためのソフトウェア等を、メディア出力部14に装填されたメディアに同時に書き込むこともできる。更に、メディア出力部14は、装填されたメディアに、客のデータ以外の必要なデータを予め書き込むこともできる。

【0025】

プリント出力部15は、給紙部(図示せず)と排紙部(図示せず)等を備え、制御部10からの制御信号に従って、印刷用紙にプリント注文票を印刷出力する。プリント出力部15における印刷方式は、インクジェット方式、熱転写方式、レーザー方式、昇華型方式、TA方式等の何れの方式も使用可能である。また、印刷用紙は、連続用紙(ロール紙)や単票用紙(カット紙)の何れも使用可能である。また、印刷用紙は、どの注文にも共通する必要事項が予め印刷されているのを使用してもよい。なお、プリント出力部15は、特許請求の範囲における出力手段としての機能を有する。

【0026】

記憶部16は、HD(Hard Disk)等を備え、後述の注文票発行処理(図4参照)において、メディア入力部13に装填されたメディアAの記録内容、注文票発行に必要な各種プログラムやデータを格納する。このプログラムやデータは、通信部17を介して外部から書き換えることが可能である。

【0027】

また、記憶部16は、メディア毎に割り当てられた注文番号を記憶した注文番号テーブル16aを格納している。注文番号テーブル16aは、図3(a)に示すように、メディア毎に「内部システム用No.」と「注文票出力用No.」の各項目を対応付けて記憶している。注文番号テーブル16aの各項目に記憶される注文番号は、後述の注文票発行処理(図4参照)において割り当てられる。

【0028】

注文番号テーブル16aにおいて、「内部システム用No.」項目は、プリントサービスを提供する全店舗(全国の写真専門店や取次店等)で適用されるユニークな番号を記憶する。

【0029】

また、注文番号テーブル16aにおいて、「注文票出力用No.」項目は、プリントサービスを提供する店舗毎に適用される番号を記憶する。この「注文票出力用No.」項目で記憶される番号は、注文票発行機1により発行される注文票上に実際に印刷される。この「注文票出力用No.」項目に記憶された番号は、図3(a)に示すように、「内部システム用No.」項目で設定される番号に比べて桁数が少なく、例えば、4、5桁程度の数字が割り当てられ、客や店員が注文番号の確認や指定を容易に行えるようになっている。注文票出力用No.は数字が好ましいが、これに限定されず、アルファベット等を組み合わせてもよい。

【0030】

更に、記憶部16は、メディア入力部13に装填されたメディアAのディレクトリ構造と、フラットなディレクトリ構造との対応関係を示すディレクトリ構造対応テーブル16bを格納する。このディレクトリ構造対応テーブル16bは、後述の注文票発行処理(図4参照)において作成される。

【0031】

ディレクトリ構造対応テーブル16bは、図3(b)に示すように、「No.」、「パス名」、「ファイル名(フラット)」の各項目を対応付けて記憶している。このディレクトリ構造対応テーブル16bにおいて、「No.」は、メディアA内のファイル毎に付与されたファイル番号を示し、これらのファイル番号は注文票上に印刷出力されることになる(図6参照)。図6に示した注文票 α においては、この「No.」項目で設定されたファイル番号は、サムネイル画像毎に付与された番号No.1、No.2、No.3、…に対応する。

【0032】

また、ディレクトリ構造対応テーブル16bにおいて、「パス名」項目は、メディアA内の各ファイルのディレクトリパスを示し、「ファイル名(フラット)」項目は、「パス名」項目の各ファイルを特定するために制御部10により付与されたファイル名を示している。この「ファイル名(フラット)」項目で設定されるファイル名は、メディアAのディレクトリ構造をフラットなディレクトリ構造に構築し直した場合のファイル名である。

【0033】

なお、上述では、記憶部16は、メディアAのディレクトリ構造をフラットなディレクトリ構造に変えて、メディアA内の各ファイルの格納を行うようにしているが、メディアAのディレクトリ構造を保持して格納するようにしてもよい。また、メディアA内の各ファイルの格納に際し、ディレクトリ構造を保持するか否かをキー入力部12から指定できるようにしてもよい。また、上述では、記憶部16が、メディアA内の各ファイルを格納したが、後述の通信部17を介して外部機器内の記憶部に格納するようにしてもよい。

【0034】

通信部17は、モデム(MODEM:Modulator/DEModulator)、ターミナルアダプタ(Terminal Adapter)、LANアダプタ等によって構成され、電話回線、ISDN回線、或いは専用線等の通信回線を介して、通信ネットワークに接続される外部機器(店舗に設置された他の注文票発行機やパーソナルコンピュータ、外部のサーバ等)との通信を行うための通信制御を行う。

【0035】

次に、本実施の形態の動作を説明する。

図4に示したフローチャートを参照して、注文票発行機1により実行される注文票発行処理について説明する。

【0036】

CD-Rがメディア出力部14に装填され、客が持参したメディアAがメディア入力部13に挿入されると（ステップS1）、制御部10は、メディアAに記録されたデータの読み込みを開始し、表示部11に、「CD-Rを作成しますか？」を表示させ、メディアAに記録されたデータをメディア出力部14に装填されたCD-Rに書き込むか否かの指定を待機する（ステップS2）。

【0037】

ステップS2において、キー入力部12により、CD-Rの作成が指定されると（ステップS2；YES）、制御部10は、読み込んだメディアA内の記録内容をメディア出力部14に出力し（ステップS3）、当該記録内容をメディア出力部14に装填されたCD-Rに書き込ませる。ステップS2において、CD-Rの作成が指定されなければ（ステップS2；NO）、制御部10は、後述のステップS4に移行する。

【0038】

次いで、制御部10は、メディアA内の記録内容を記憶部16に出力し、当該記録内容の書き込みを開始する（ステップS4）。記憶部16への書き込みに際して、制御部10は、メディアAに対して注文番号（内部システム用No.及び注文票出力用No.）を割り当て、その割り当てた注文番号を注文番号テーブル16aに格納する。また、制御部10は、メディアAに対応するディレクトリ構造対応テーブル16bを作成し、記憶部16に格納する。

【0039】

以下では、メディアAに割り当てられた注文番号のうち、内部システム用No.をID1（ID1=0001-20020605194513）、注文票出力用No.を「4825」とする（図3（a）の上段参照）。

【0040】

また、制御部10は、メディアA用のディレクトリ構造対応テーブル16bを

作成する。このディレクトリ構造対応テーブル16bの作成において、制御部10は、まず、メディアA内の各ファイルにファイル番号を付与する。また、制御部10は、メディアAのディレクトリ構造が、図5(a)に示すような階層構造を有する場合、メディアA内のファイル毎に、ファイルを特定するファイル名を付与し、階層的なディレクトリ構造をフラットなディレクトリ構造(図5(b))に変える。

【0041】

そして、制御部10は、メディアA内のファイル毎に、上記で付与したファイル番号(No.)、階層的なディレクトリ構造におけるディレクトリパス、フラットなディレクトリ構造におけるファイル名(フラット)を対応付けたディレクトリ構造対応テーブル16b(図5(c))を作成する。記憶部16は、図5(b)に示したフラットなディレクトリ構造の状態で、メディアA内の各ファイルを格納する。

【0042】

図5(a)に示した階層的なディレクトリ構造では、フォルダ0001及び002に、同一ファイル名のファイル001.JPG及び002.JPGが格納されていたが、図5(c)に示したディレクトリ構造対応テーブル16bによると、フォルダ001内の001.JPG、002.JPGには、それぞれ、ファイル名001.JPG、002.JPGが付与され、フォルダ0002内の001.JPG、002.JPGには、それぞれ、ファイル名003.JPG、004.JPGが付与されている。このように、メディアA内の各ファイルに異なるファイル名が付与されることで、各々のファイルが特定可能となっている。

【0043】

なお、メディアAの記録内容に、画像ファイルや文書ファイル以外のアプリケーションファイル(拡張子がEXEやCOM等のファイル)等が含まれている場合、制御部10は、これらのアプリケーションファイルを除き、アプリケーションファイル以外の各データに対して、フラットなディレクトリ構造におけるファイル名を付与し、記憶部16に格納する。ここで、文書ファイルとは、例えば、各種ワープロソフトで作成された文書、HTML文書、PDFフォーマット等で文書が記載されたファイルである。

【0044】

ステップS4におけるデータの書き込み後、制御部10は、記憶部16に書き込まれたデータに基づいて、注文票データの作成を行う（ステップS5）。この注文票データの作成において、制御部10は、ステップS4で記憶部16に書き込まれた各画像ファイルに対しては、注文票に画像の一覧印刷を行うため、画像ファイル毎にサムネイル画像を作成する。また、ステップS4で記憶部16に書き込まれた文書ファイルに対しては、文書ファイル毎に、予め決められたアイコンを割り当てる。

【0045】

次いで、制御部10は、ステップS5で作成された注文票データに基づいて、プリント出力部15から注文票を印刷出力し（ステップS6）、本注文票発行処理を終了する。

【0046】

図6に、メディアAの記録内容が全て画像ファイルから構成される場合の注文票 α の例を示す。注文票 α は、図6に示すように、上部の左側には、「受付日時」、「注文N○.」、「お名前」、「TEL」の各項目が設けられ、上部の右側には、「有効期間」、「全注文」、「取次店」、「TEL」、「住所」の各項目が設けられている。

【0047】

注文票 α 上部の「受付日時」項目には、プリント注文を受け付けた日時として注文票 α を発行した日時が印刷され、「注文N○.」項目には、注文番号テーブル16a（図3（a））の注文票出力用N○.に設定された番号が印刷される。メディアAの場合、内部システム用N○.がID1（ID1=0001-20020605194513）であることから、「注文N○.」項目には、4825が印刷される（図3（a）の上段参照）。なお、注文N○.をバーコード化したものを併記するようにしてもよい。また、注文票 α 上部左側の「お名前」項目及び「TEL」項目には、それぞれ、プリント注文をする客の氏名、電話番号が記入可能な空欄が設けられている。

【0048】

注文票 α 上部右側の「有効期間」項目には、上記の受付日時に受け付けたプリント注文の有効期間が印刷される。また、「全注文」項目には、プリント注文枚数の総数が記入可能な空欄が設けられている。また、注文票 α 上部右側の「取次店」項目、「TEL」項目及び「住所」項目には、それぞれ、プリント注文を受け付けた店舗の名前（取次店名）、当該店舗の電話番号、当該店舗の住所が印刷される。

【0049】

更に、注文票 α には、インデックスプリントのように、メディアAに記録された画像データのサムネイル画像が一覧印刷され、サムネイル画像毎に、ファイル番号が印刷されている。また、サムネイル画像の下部には、プリントサイズ（L、2L、他）の選択欄及びCD-Rへの書き込みの有無を指定する欄が設けられるとともに、プリント枚数が記入可能な空欄が設けられている。ここで、サムネイル画像毎に示されるファイル番号（No.1、No.2、…）は、メディアA用のディレクトリ構造対応テーブル16b（図5（c））の「No.」項目において設定された番号である。なお、注文票 α に、バーコード化されたファイル番号が併記されるようにしてもよい。注文票 α の最下部には、注文票 α による注文を受け付けるFAX番号、電話番号及びURL（Uniform Resource Locator）が印刷されている。

【0050】

なお、注文票 α に、地域のお知らせや、各種サービスを提供する店舗の広告等が印刷されるようにしてもよい。また、図6の注文票 α の最下部右側に示したように、必要であれば、プリントを受け取りが可能な受取店舗を複数印刷し、プリントを受け取る店舗を指定するためのチェックボックスを設けるようにしてもよい。

【0051】

図7に、文書ファイルが記録されたメディアBのディレクトリ構造（図7（a））と、このメディアBの記録内容に基づいて発行された注文票 β （図7（b））の例を示す。このメディアBの場合、拡張子がEXEのアプリケーションファイル001.EXE以外のファイルが記憶部16に格納され、図7（b）に示すように、0

01.EXE以外のファイルに対応するアイコンが注文票β上に印刷出力される。

【0052】

注文票βでは、メディアBに記録された文書ファイルのアイコンが一覧印刷され、文書ファイル毎に、ファイル番号（No.1、No.2、…）が印刷されている。なお、注文票βに、バーコード化されたファイル番号が併記されるようにもよい。文書ファイルの場合、アイコンのみでは各ファイルを識別できないため、各アイコンの下部には、該当文書ファイルのファイル名が印刷される。また、ファイル名の下部には、プリント部数が記入可能な空欄が設けられている。なお、一つのメディアに画像ファイルと文書ファイルが混在している場合は、同一注文№○の注文票に、画像ファイルのサムネイル画像と、文書ファイルのアイコンが併せて印刷されることになる。

【0053】

客は、上述のようにして発行された注文票に、名前、電話番号、プリントサイズ、プリント枚数等の必要事項を記入し、プリント注文することになる。プリント注文は、店頭で行ってもよいが、店舗から離れた場所から電話やインターネット経由等で行うようにしてもよい。プリント注文を受けた店舗側は、注文票上の注文№○等に基づいて、記憶部16に格納されたデータから、プリントすべきデータを特定し、プリント処理を実行することになる。

【0054】

以上のように、本実施の形態の注文票発行機1によれば、客が持参したメディアが挿入されると、自動的に当該メディアに記録されたデータを読み取り、当該データのプリント注文を行うための注文票を自動的に発行できるようにしたことにより、注文票を効率的に発行することができる。また、客は、店員の手を借りることなく注文票を取得することができる。

【0055】

また、画像データのプリント注文を行うための注文票には、図6に示すように、インデックスプリントのように、サムネイル画像が一覧印刷されることで、客は、画像を確認しながら、注文内容（プリントサイズ、プリント枚数）を記入することができる。また、プリント注文票にインデックスプリントを使用すること

で、インデックスプリントの有効利用を図ることができる。

【0056】

更に、注文票に印刷される「注文N○.」が、4、5桁程度の簡易な数字であるため、実際にプリント注文を行う際、客や店員は、注文N○. を容易に確認することができる。従って、例えば、注文票発行機1により発行された注文票を用いて、店舗から離れたところから電話等で注文する際などは、客は、この4、5桁程度の注文N○. を指定すればよく、プリント注文がし易くなる。

【0057】

また、客が持参したメディアに記録されたデータを、記憶部16又は外部機器の記憶部に記憶させることで、客は、画像データが記録されたメディアを店舗に預ける必要がなくなる。

【0058】

更に、メディア出力部14に装填されたCD-R等に、メディアAのデータを記録可能にすることで、客が持参したメディアAを用いて注文票を発行する必要がなくなり、メディアAのデータが消去される等の事故を防ぐことができる。また、メディア出力部14に装填されたCD-R等にメディアAのバックアップをとることで、メディアAのデータを消去して、メディアAを再利用することができるとともに、再プリント時は、当該CD-Rを用いて簡単に注文を行うことができる。

【0059】

なお、本実施の形態における記述内容は、本発明の趣旨を逸脱しない範囲で適宜変更可能である。

【0060】

例えば、本実施の形態における注文票発行機1は、客が持参したメディアの記録内容をCD-R等に書き込むメディア出力部14を備えていたが、このメディア出力部14を搭載していないても、本発明の注文票発行装置は適用可能である。メディア出力部14を搭載していない注文票発行機の場合、図4のフローチャートにおけるステップS2及びS3は不要となる。

【0061】

【発明の効果】

請求項1記載の発明によれば、記録媒体に記録されたデータの識別情報が印刷された注文票が発行可能になり、注文客は、発行された注文票に注文内容を記入する際、プリント注文を行うデータを容易に確認することができる。特に、記録媒体に複数のデータが記録されている場合、各データの識別情報の一覧が印刷された注文票が発行可能になり、注文票発行装置の利便性を一層高めることができる。

【0062】

請求項2記載の発明によれば、記録媒体に記録された画像データのサムネイル画像が印刷された注文票を発行することで、注文客は、発行された注文票に注文内容を記入する際、プリント注文を行う画像を容易に確認することができる。

【0063】

請求項3記載の発明によれば、記録媒体に記録された文書データの文書名やアイコンが印刷された注文票を発行することで、注文票発行装置の利便性を一層高めることができる。

【図面の簡単な説明】**【図1】**

本発明の注文票発行装置を適用した注文票発行機1の外観図。

【図2】

本実施の形態の注文票発行機1の内部構成を示すブロック図。

【図3】

記憶部16に記憶された注文番号テーブル16aのデータ構成と、ディレクトリ構造対応テーブル16bのデータ構成を示す図。

【図4】

注文票発行機1により実行される注文票発行処理を示すフローチャート。

【図5】

メディア入力部13に装填されたメディアAに記録されたデータの階層的なディレクトリ構造と(同図(a))、フラットなディレクトリ構造(同図(b))と、ディレクトリ構造対応テーブル16b(同図(c))を示す図。

【図6】

注文票発行機1により発行される注文票 α を示す図。

【図7】

文書ファイルが記録されたメディアBのディレクトリ構造（同図（a））と、
注文票発行機1により発行される注文票 β （同図（b））を示す図。

【符号の説明】

1 注文票発行機

1 0 制御部

1 1 表示部

1 2 キー入力部

1 3 メディア入力部

1 4 メディア出力部

1 5 プリント出力部

1 6 記憶部

1 6 a 注文番号テーブル

1 6 b ディレクトリ構造対応テーブル

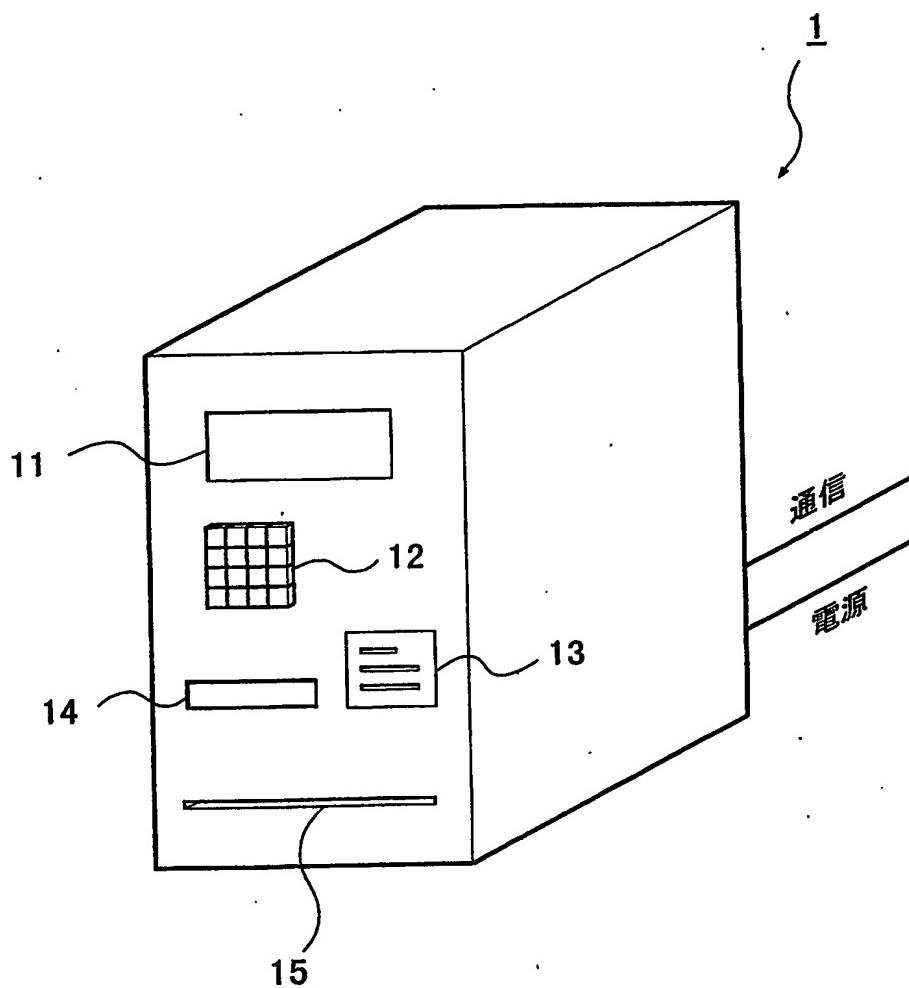
1 7 通信部

1 8 バス

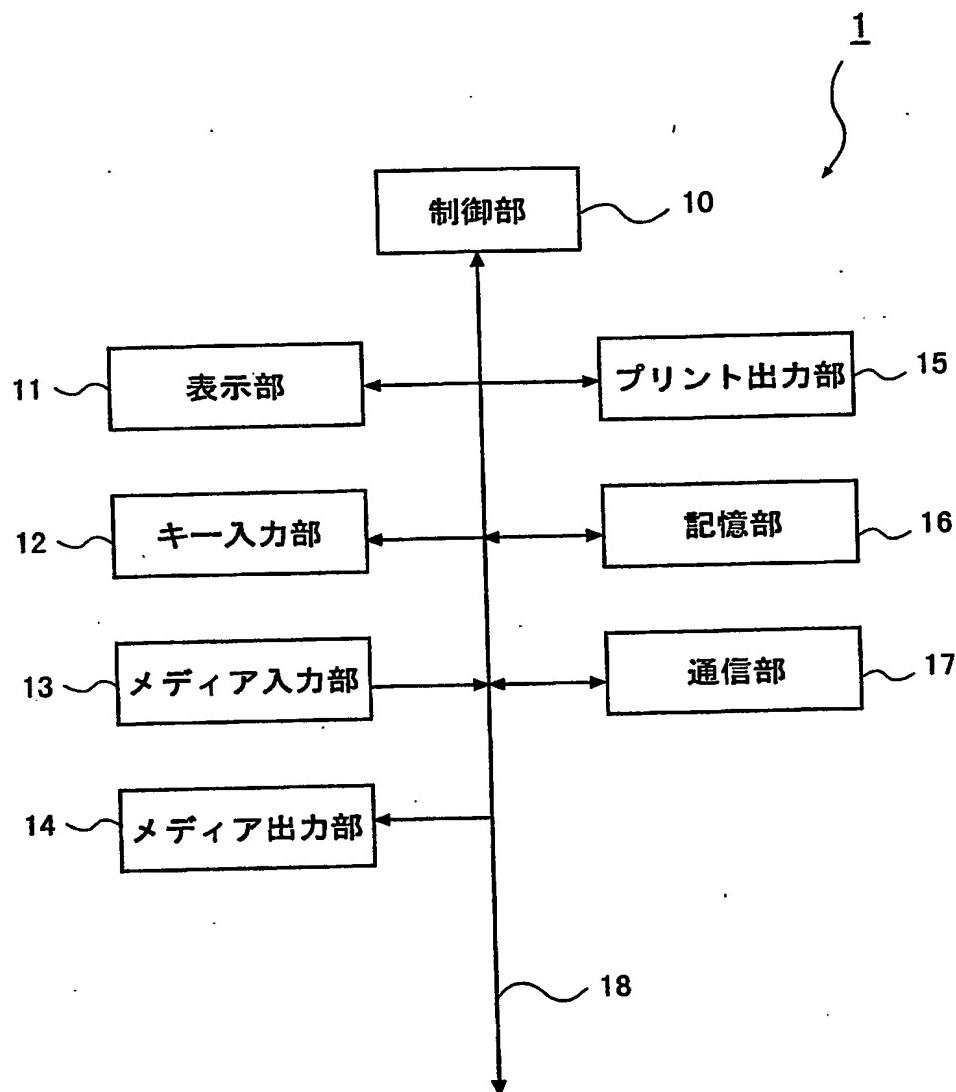
α 、 β 注文票

【書類名】 図面

【図1】



【図2】



【図3】

(a)

注文番号テーブル

16a

内部システム用 No.	注文票出力用 NO.
0001-20020605194513	4825
0001-20020607103512	4901
:	:

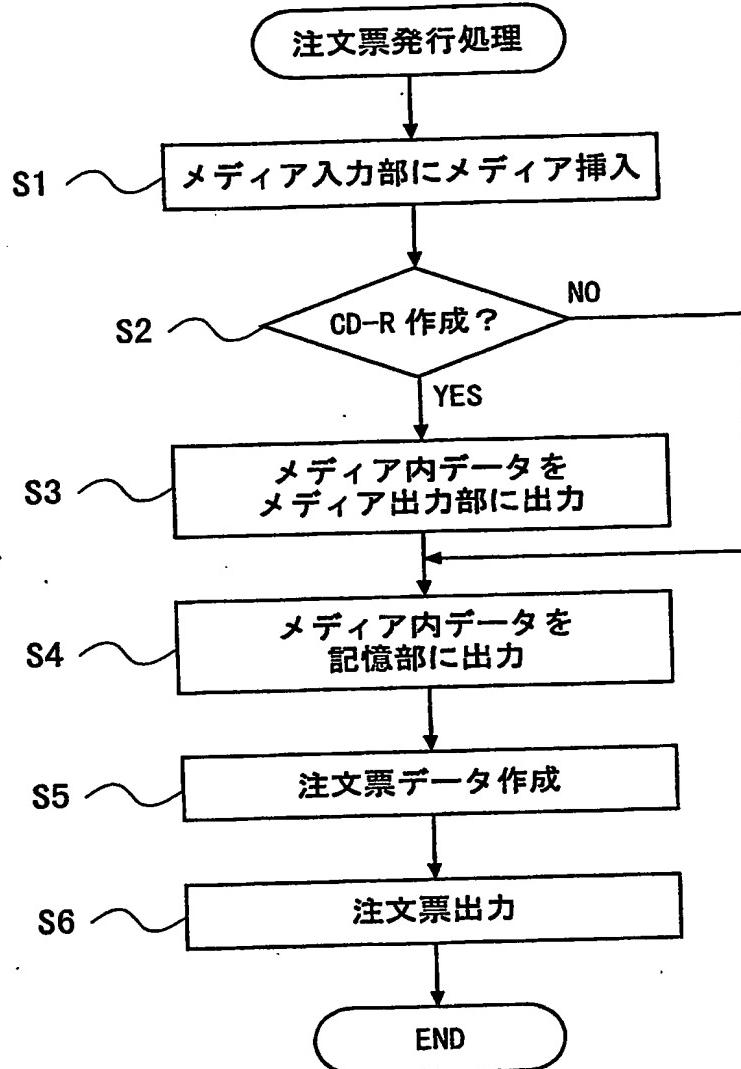
(b)

ディレクトリ構造対応テーブル

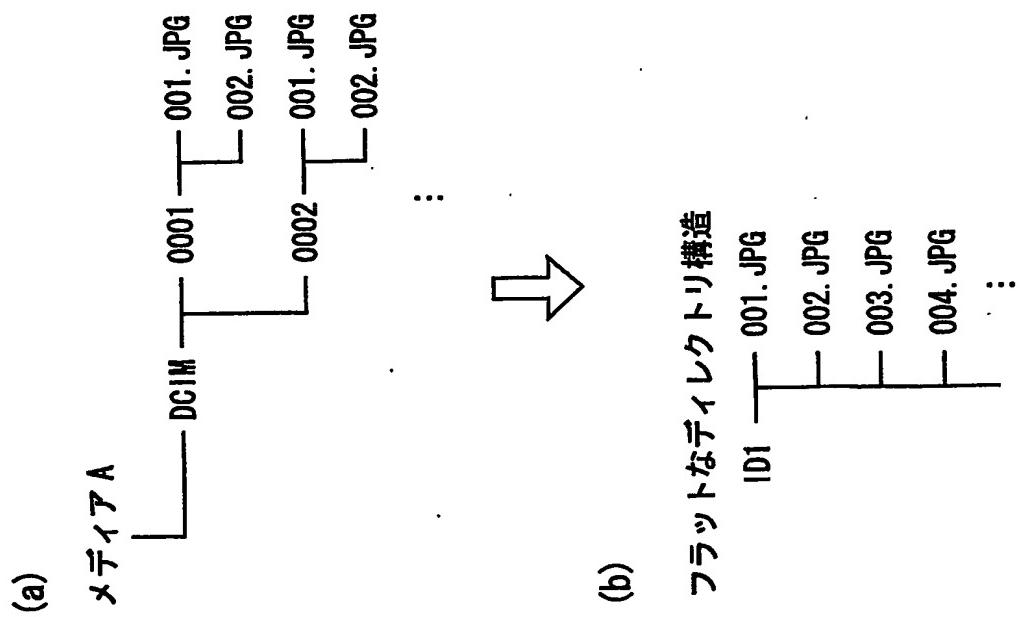
16b

No.	パス名	ファイル名（フラット）
1	DCIM/X01/Y01/Z01.JPG	Z01.JPG
2	DCIM/X01/Y01/Z02.JPG	Z02.JPG
3	DCIM/X02/Y01/Z01.JPG	Z03.JPG
4	DCIM/X02/Y02/Z02.JPG	Z04.JPG
:	:	:

【図4】



【図5】



ID1 = 0001-20020605194513

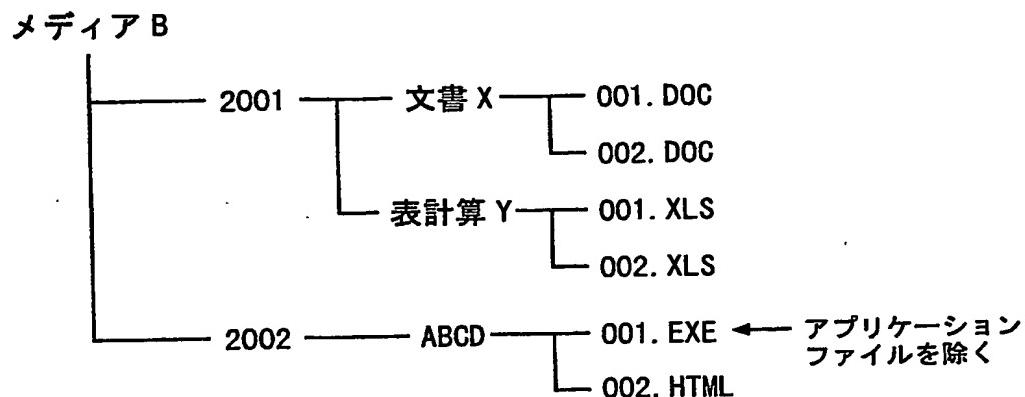
【図6】

α

注文票			
受付日時：2002年6月5日19:45'		有効期間 2002年6月19日 全注文 枚	
注文 No. : 4825		取次店：PQ プリント△△店	
お名前 :		TEL : 03-3669- × × ×	
TEL :		住所 : 東京都中央区○×町	
No. 1	No. 2	No. 3	No. 4
<input type="checkbox"/> L <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> 2L <input type="checkbox"/> 他	<input type="checkbox"/> L <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> 2L <input type="checkbox"/> 他	<input type="checkbox"/> L <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> 2L <input type="checkbox"/> 他	<input type="checkbox"/> L <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> 2L <input type="checkbox"/> 他
枚	枚	枚	枚
No. 5	No. 6	No. 7	No. 8
<input type="checkbox"/> L <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> 2L <input type="checkbox"/> 他	<input type="checkbox"/> L <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> 2L <input type="checkbox"/> 他	<input type="checkbox"/> L <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> 2L <input type="checkbox"/> 他	<input type="checkbox"/> L <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> 2L <input type="checkbox"/> 他
枚	枚	枚	枚
No. 9	No. 10	No. 11	No. 12
<input type="checkbox"/> L <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> 2L <input type="checkbox"/> 他	<input type="checkbox"/> L <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> 2L <input type="checkbox"/> 他	<input type="checkbox"/> L <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> 2L <input type="checkbox"/> 他	<input type="checkbox"/> L <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> 2L <input type="checkbox"/> 他
枚	枚	枚	枚
No. 13	No. 14	No. 15	No. 16
<input type="checkbox"/> L <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> 2L <input type="checkbox"/> 他	<input type="checkbox"/> L <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> 2L <input type="checkbox"/> 他	<input type="checkbox"/> L <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> 2L <input type="checkbox"/> 他	<input type="checkbox"/> L <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> 2L <input type="checkbox"/> 他
枚	枚	枚	枚
FAX 受付 : 03-3669- △△△△		取扱店 <input type="checkbox"/> PQ プリント新宿店	
電話受付 : 03-3669- × × × ×		<input type="checkbox"/> PQ プリント渋谷店	
注文用 URL : http://www.pqprintxyz.co.jp/order/		<input type="checkbox"/> ×△ストア板橋店	
		<input type="checkbox"/> AZ ストア池袋店	

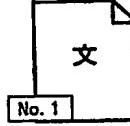
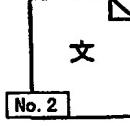
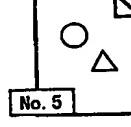
【図7】

(a)



(b)

β

注文票	
受付日時 : 2002年6月6日09:00	有効期間 2002年6月20日
注文No. : 4826	取次店 : Q プリント△△店
お名前 :	TEL : 03-3669- ××××
TEL :	住所 : 東京都中央区○×町
  No. 1 No. 2 001.DOC 部    No. 3 No. 4 No. 5 001.XLS 部 002.XLS 部 002.HTML 部	
FAX受付 : 03-3669- △△△△	

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 記録媒体に記録されたデータの識別情報（サムネイル、アイコン、ファイル名、ファイルサイズ等）を一覧印刷したプリント注文票を発行することである。

【解決手段】 デジタルフォトサービスを提供する店舗に設置された注文票発行機1は、メディア入力部13に、客が持参した記録媒体が挿入されると、当該記録媒体に記録された各画像データを読み取り、当該各画像データのサムネイル画像を用いて、当該各画像データのプリント注文を行うための注文票データを作成し、プリント出力部15から、作成された注文票データに基づいて、サムネイル画像の一覧が示された注文票を印刷出力する。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [000001270]

1. 変更年月日 1990年 8月14日

[変更理由] 新規登録

住所 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号
氏名 コニカ株式会社

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.